

令和2年度「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：32004
学校名：札幌市立北陽中学校

「健やかな身体」育成プログラムのポイント		◎ 目的意識や目標をもち、主体的に運動に取り組む＝「運動の質の向上」を図る。 ◎ 授業や学校行事のときだけではなく、家庭生活も含めた「運動の日常化」を図る。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆ 主体的に心身の健康の保持増進に取り組む子ども ☆ 運動、健康、安全に関する知識や技能を日常生活に活かす思考力、判断力、表現力を身に付けた子ども		
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 体育の授業で20mシャトルランを学期毎に行い、その合計回数の優秀者を表彰した。 ○ 運動部活動に教員全員が関わり、日々の運営を支援する体制をとった。 ○ タブレット端末等を利用した、理解しやすい体育授業の工夫を図った。	【成果】 ＞ 走ることへの目的意識が高くなり、記録を更新するための意欲が高まった。 ＞ 運動部活動が活性化し、大会で好成績を収めるまで向上した部もあった。 ＞ 運動が理解しやすい授業環境づくりにより、課題解決に取り組んだ。	【課題】 》 あきらめが早い子どもに、粘り強く取り組む意識付けを図る 》 風通しの良い部活指導の在り方 》 さらに課題解決能力を身に付けるための授業改善
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 夏・冬休みに運動記録カードを配付した。 ○ 体育館特別企画と称して昼休みに各学年で活動した。 ○ ランチルーム給食で、栄養教諭が食育指導を行った。 ○ 助産師による性の講話会や誕生学アドバイザーによる特別講演会「命の授業」を行った。	【成果】 ＞ 思い切り体を動かす機会が増え、楽しみながら運動に取り組む健康の保持につながった。 ＞ 日常の食生活への関心が高まった。 ＞ 生命の尊さを学び、自他の健康や命を大切にすることが高まった。	【課題】 》 運動に取り組むやすい好循環をつくるための工夫 》 生活習慣病の若年化に対する指導の工夫 》 講演会で学んだことを日常生活に活かす工夫
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	A 課題探究しやすい活動内容の充実		
	A 体育に関する指導の充実	○ 体育授業において、各単元における習熟度別の目標の設定や、学習カード内容を工夫する。 ○ 基礎体力の向上に欠かせない、準備運動を工夫する。（補強運動に時間設定を設ける等）		
	B 健康に関する指導の充実	○ 講演会で学んだことを保健や道德の授業でフィードバックできるように授業内容を工夫する。 ○ 取組に参加しやすい環境づくりの工夫（体育委員会と連携した昼休みや放課後イベントのさらなる充実）		
検証の方法	各種調査等の活用	○ 保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技評価や授業観察等） ○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○ 学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○ 学校評議員・学校関係者評価等の活用		

